

昭和18年
唄／三原純子

南から南から

藤浦 洗 作詞
加賀谷 伸 作曲

みなみから -

みなみ-から - とんできたきた わたりどり

うれしそに - たのし-そに - ふじのおやまを

ながめ-てる あかねの-そら はれやか-に

一のぼるあーさひ いさましやー そのすがーた

みたこころー ーちよつとひとこと きかせてー よ

南から南から

1 南から南から 飛んで来た来た渡り鳥
嬉しそに楽しそに 富士のお山を眺めてる
茜の空晴れやかに 昇る朝日勇ましや
その姿見た心 ちよつと一言聞かせてよ

2 南から南から そよぐそよそよ南風
爽やかに和やかに 村の鎮守の森をゆく
深みどり色も濃く 娘十八神詣で
その姿見た心 ちよつと一言聞かせてよ

3 南から南から 遠く海越え来た人は
村里に街角に なびく日の丸頼もしく
じつと眺めて涙ぐむ 強いお国日本の
その姿見た心 ちよつと一言聞かせてよ

